

令和2年度

日本文化・茶道(演習) 授業計画

担当 八木澤和希子

- ・到達目標 : 裏千家茶道の基本を楽しく学びながら、日本の伝統文化への造詣を深め、豊かなこころを養う。
- ・授業の概要 : 茶道の歴史や茶席での立ち居振る舞いを教え、学生各自が亭主、客となり薄茶を点て、頂きながら互いへの思いやりやマナーを身につけさせる。
- ・使用テキスト : はじめての茶道 (財団法人 今日庵)

・内 容 :

回数	内 容	
1	茶道のなりたち	・ 茶道の歴史 ・ 茶道のこころ ・ 茶と健康
2	茶道の基礎知識 茶席の心得	・ 茶室、露地、茶花 ・ 茶道具 ・ 茶席のお菓子 ・ 立ち居振る舞い (座り方、立ち方、歩き方、おじぎの仕方、ふすまの開け閉め) ・ お茶とお菓子のいただき方
3	割稽古	・ 帛紗さばき ・ 棗、茶杓の清め方 ・ 茶筥とおし
4		・ 茶巾のたたみ方 ・ 茶碗の清め方 ・ お茶の点て方
5	まとめ	・ 席入り ・ 盆略手前

学生に対する評価方法 : 授業態度、参加意欲、出席状況により総合的に評価する。

科目： 日本文化（華道） （演習1単位）	担当教員名：海老澤宣子 担当形態：複数	使用テキスト：なし
授業到達目標及びテーマ： ・日本文化（華道）について理解し、華道の持つ、癒しや環境の雰囲気等を味わい実践し身につける。 ・季節の自然物や植物について興味や関心を持ち子どもと共に感動する心情を共有できるよう基礎を知ると共に就職に向けての実践力を身につける。		
授業の概要： ・華道についての一般常識を理解しながら、グループでの実演をし、生ける基礎を学びながら感性を養う。 ・季節の自然物や植物に興味や関心を持ち、実際に植物採取等を通して、保育室の環境構成について理解しながら華道と合わせて、感性が培われるよう学ぶ。		
回	項目	内容
1	オリエンテーション及び 日本文化について	・冒頭で授業の概要について説明する。華道について知識を深める。 また、公園で季節の花や植物を見つけ、保育室にはどんな生け方があるかを学ぶ。
2	生け花の基本（1）	・準備してある花の名前を知り、生け花の基本を理解しながら実際に生ける。
3	生け花の基本（2）	・花の名前や花言葉を知りながら、直立型の生け花に挑戦する。 ・グループでの完成を鑑賞しながら、良い部分をみんなで認め合う。
4	生け花の基本（3）	・花言葉に興味を持ちながら、いけた花にテーマを決め 学院内に飾る。
5	振り返り及び評価	・日本文化（華道）についての学びを振り返りながら自己評価をする。
参考書・参考資料： 幼稚園教育要領（文部科学省）、保育所保育指針（厚生労働省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府・文部科学省・厚生労働省） 美しい花言葉*花図鑑（ナツメ社）、小原流生け花、必要に応じてプリント配布など		
学生に対する評価方法 授業態度や実践及びレポート提出など総合的に評価する。		
【海老澤宣子】 東奥幼稚園 元園長		